

製品名: P70 S6 キナーゼ(1C7)マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM15667

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:200, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	70,85kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS6KB1 STK14A P70S6K
別名	RPS6KB1
遺伝子 ID	6198.0
SwissProt ID	P23443
免疫原	RPS6KB1 の P70 S6 キナーゼの組換えタンパク質

背景

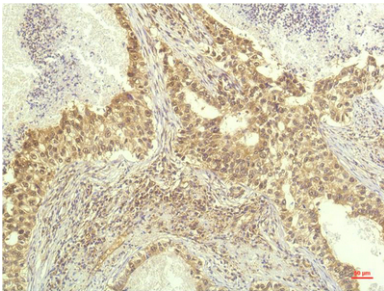
リボソームタンパク質 S6 キナーゼ B1 (RPS6KB1) ホモサピエンス この遺伝子は、セリン / スレオニンキナーゼのリボソーム S6 キナーゼファミリーのメンバーをコードします。コードされているタンパク質は、mTOR (哺乳類ラパマイシン標的タンパク質) シグ

ナル伝達に应答し、タンパク質合成、細胞成長、および細胞増殖を促進します。この遺伝子の活性はヒト癌との関連が報告されています。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。選択的翻訳開始部位の使用により、N末端が長いまたは短いアイソフォームが生成され、細胞内局在が異なる場合があります。この遺伝子には、染色体 17 上に2つの擬似遺伝子が存在する。[RefSeq 提供、2013年1月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、酵素調節: セリン/スレオニンリン酸化およびタンパク質キナーゼCによって活性化され、2A型ホスファターゼによって不活性化される。、機能: インスリンまたはいくつかのクラスのミトジェンに反応して、リボソームタンパク質S6を特異的にリン酸化します。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。S6キナーゼサブファミリー。、類似性:1つのAGCキナーゼC末端ドメインを含む。、類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、サブユニット:PPP1R9A/ニューラビン-1と相互作用する。、組織特異性:広く発現している。、

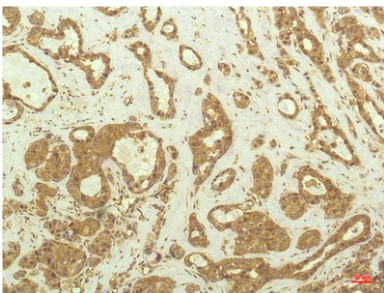
研究分野

ErbB_HER;mTOR;TGF-beta;Fc gamma R を介した貪食作用;インスリン受容体;急性骨髄性白血病;

画像データ



1:200 に希釈した P70 S6 キナーゼマウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



1:200 に希釈した P70 S6 キナーゼマウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。